

# 5G SAアプリケーションでのshow resources CLIの理解

## 内容

[概要](#)

[仕組み](#)

[出力の説明](#)

[Goプログラミング言語の追加の説明](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco 5G SAアプリケーションでのshow resources CLIの出力について説明します。

## 仕組み

show resources CLIは、クラスタ内のすべてのポッド（主にプロトコルとサービスポッド）のリソース情報をリストします。リソース情報は、各ポッドから定期的に収集され、CLIに表示されます。

出力例：

```
[unknown] smf# show resources
TOTAL USED DISK
NODE POD USAGE GO GC
CPU MEMORY MEMORY IN ROUTINES GC PAUSE
POD INSTANCE USAGE IN MB IN MB KBPS COUNT COUNT IN NS
```

```
-----
cache-pod-1 2 32011 85 0 172 29684 85
cache-pod-2 2 32011 83 0 172 29627 83
gtpc-ep-0 2 32011 70 0 69 29088 70
li-ep-0 5 32011 51 0 56 29095 51
oam-pod-1 2 32011 98 0 157 29095 98
smf-nodemgr-0 7 32011 94 0 213 29096 94
smf-protocol-0 3 32011 135 0 206 29092 135
smf-rest-ep-0 4 32011 125 0 203 29091 125
smf-service-0 3 32011 321 0 247 34958 321
smf-udp-proxy-0 1 32011 82 0 88 29083 82
```

## 出力の説明

ポッドインスタンス	ポッド名
CPU使用率CPU	ポッドのCPU使用率
合計ノードメモリ(MB)	ポッドが実行されているワーカーノードの合計メモリ
使用済みポッドメモリ(MB)	ポッドによって使用されるメモリ
ディスク使用量(KBPS)	ディスクI/Oレート(Kbps)

実行ルーチン数

実行ルーチンの数

GC数

ガベージコレクションルーチン数

NSでのGC一時停止

NanoSecondsでのガベージコレクションルーチン一時停止

## Goプログラミング言語の追加の説明

Go RoutineはGoプログラミング言語の"スレッド"のようなものです。パフォーマンスの向上などのために使用されます。問題のあるシナリオでは、Goルーチンが正しく終了せず、新しいGoルーチンが作成を続けている場合に、Goルーチンリークを確認できます。Go Routineリークの影響は、メモリリークに似ています。これは、show resourcesの出力でGO ROUTINE COUNTを調べることで識別できます。劇的または継続的な増加が確認された場合は、Go Routineリークの可能性があります。

ガベージコレクションは、メモリ管理機能の組み込みGoです。メモリの使用量を節約するために使用されなくなったオブジェクトを継続的にクリーンアップします。GC COUNTおよびGC PAUSE IN NSを使用すると、ガベージコレクションが問題なく動作するかどうかを監視できます。たとえば、特定のポッドのGCカウントが多すぎるか、またはGC一時停止が長すぎると、問題が発生する可能性があります。